



## 家畜衛生だより

埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光1-8-30

電話 048-521-1274

FAX 048-526-1063

E-mail k211274@pref.saitama.lg.jp

令和8年3月発行 No.7-18

# 令和7年度2回目のBVDバルク乳検査は 県内全戸陰性 でした！

令和8年2月16日(月)に実施した牛ウイルス性下痢(BVD)バルク乳検査において、県内全戸陰性を確認しました。

BVDは季節や地域に関係なく発生し、県内でも持続感染牛(PI牛)の摘発事例があります。

埼玉県では今後も年に2回のバルク乳検査の実施を予定しています。引き続き検査へのご協力をお願いします。

BVD対策について裏面を確認ください。

## 韓国で口蹄疫が続発

令和8年2月28日に韓国で本年3例目の口蹄疫の発生がありました。韓国は地理的に近く、人的交流も多いことから、より一層の警戒が必要です。防疫対策の徹底をお願いします。

- 発生地域への渡航の自粛
- 農場での病原体侵入防止対策の徹底
- 家畜の健康観察を行い、異状の早期発見

異状が確認されたら、管轄家畜保健衛生所に通報を！  
熊谷家畜保健衛生所(048-521-1274)

## 牛ウイルス性下痢（BVD）対策について

### ・BVDとは

牛に下痢や呼吸器症状、繁殖障害などを引き起こすウイルス性の病気です。

BVDで特に注意が必要なのは、繁殖への影響です。

感染の時期によって、流産、死産、奇形子牛など様々な繁殖障害を認めます。さらに、「持続感染牛（PI牛）」の存在は農場に大きな影響を及ぼします。

### ・PI牛とは

妊娠100日前後の母牛がBVDウイルスに感染すると、生まれつきウイルスを持った子牛が生まれてくることがあり、この子牛を「PI牛」といいます。

PI牛は、見た目は元気なことも多いですが、BVDウイルスに対する抗体を持たず、一生涯ウイルスを排出し続けます。これにより農場内の牛は常にウイルスにさらされ続け、新たな感染を引き起こします。

BVD対策で大切なのは

「入れない」「拡げない」「残さない」ことです。

入れない  
(侵入防止)

- ・導入牛の検査
- ・導入後の隔離
- ・人モノの消毒の徹底

拡げない  
(場内対策)

- ・ワクチン接種
- ・病牛の隔離
- ・器具の共用は避ける

残さない  
(PI牛対策)

- ・子牛の検査
- ・陽性牛の淘汰
- ・継続的なモニタリング